

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 調査結果

○調査概要

対 象 者： 市内に居住する65歳以上の高齢者のうち、一般高齢者、
要支援1・2の認定者

サンプル数： 3,000人 （日常生活圏域の人口割合に応じて抽出）

回 答 者 数： 2,239人（回答率：74.6%）

調 査 方 法： 質問用紙による郵送方式

調 査 期 間： 令和2年1月10日から令和2年1月31日まで

※詳しい調査概要については令和元年度第4回郡山市介護保険運営協議会資料
をご覧ください。

○調査結果内容

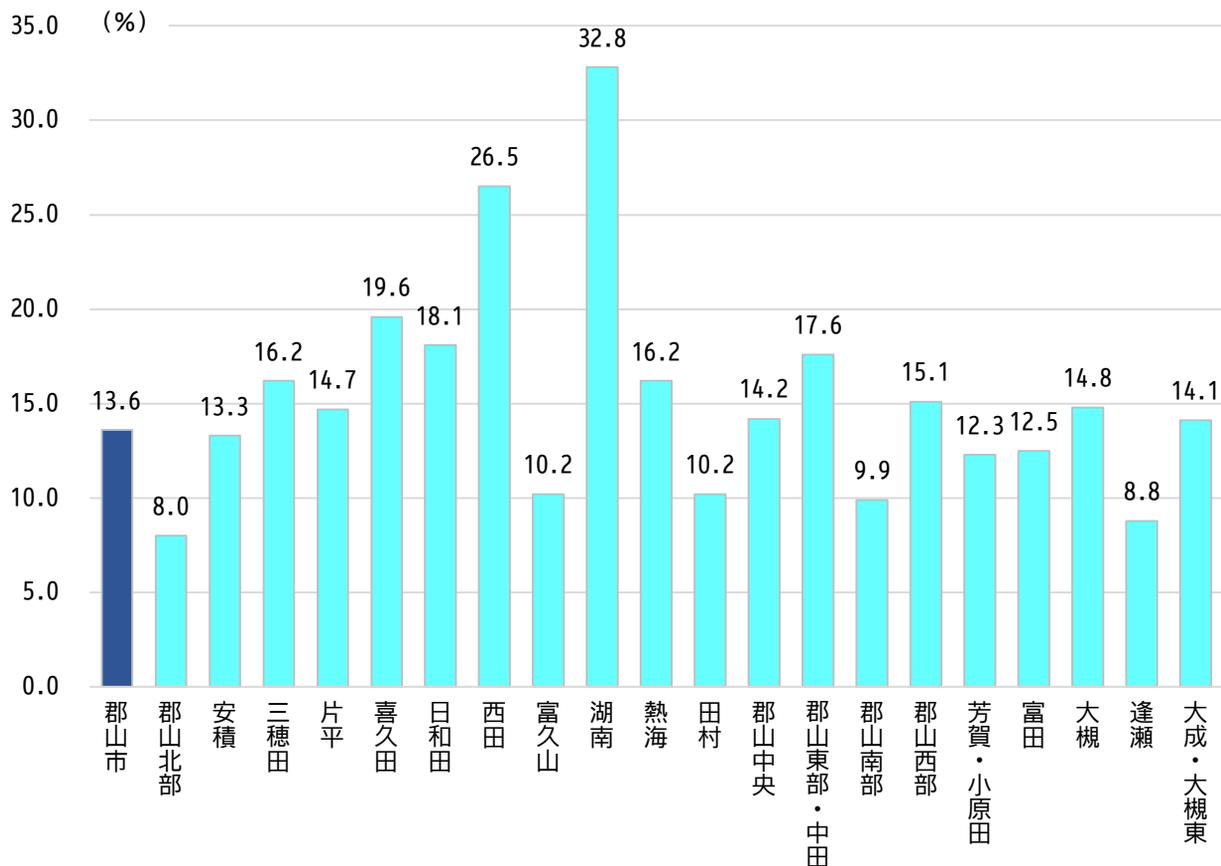
厚生労働省「見える化システム」による

※見える化システムによるデータは、65歳以上の高齢者人口、調査
人数、回答者数、回答率、各質問項目への回答内容等により推計さ
れる割合となっており、実際の回答者数や割合とは異なります。

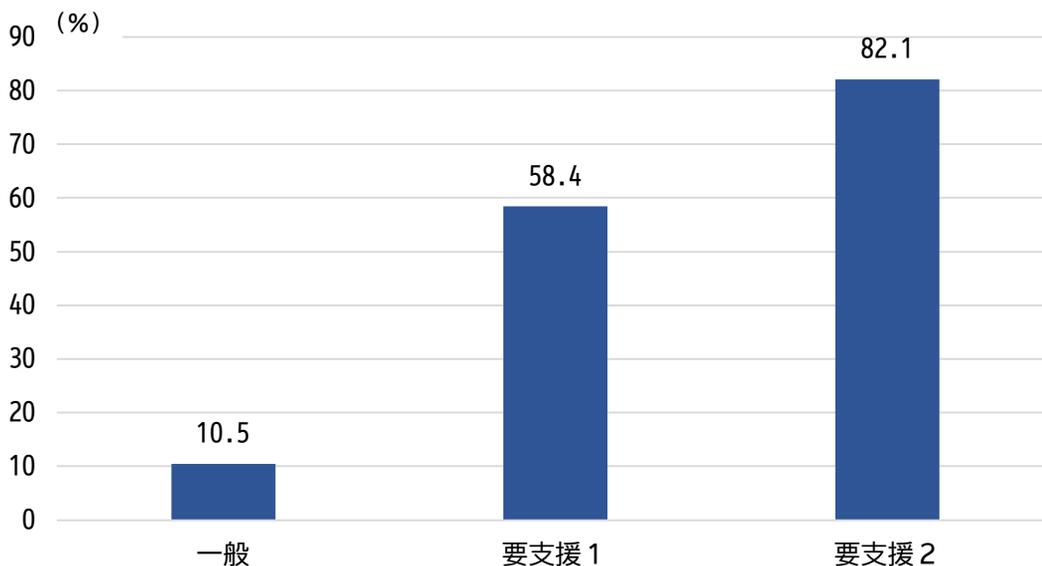
- 1、運動器機能リスク高齢者の割合
- 2、栄養改善リスク高齢者の割合
- 3、咀嚼機能リスク高齢者の割合
- 4、閉じこもりリスク高齢者の割合
- 5、認知症リスク高齢者の割合
- 6、うつりリスク高齢者の割合
- 7、IADLが低い高齢者の割合
- 8、転倒リスク高齢者の割合
- 9、平成28年度調査との比較

1、運動器機能リスク高齢者の割合

運動器機能リスク高齢者の割合（一般高齢者、要支援1、要支援2）

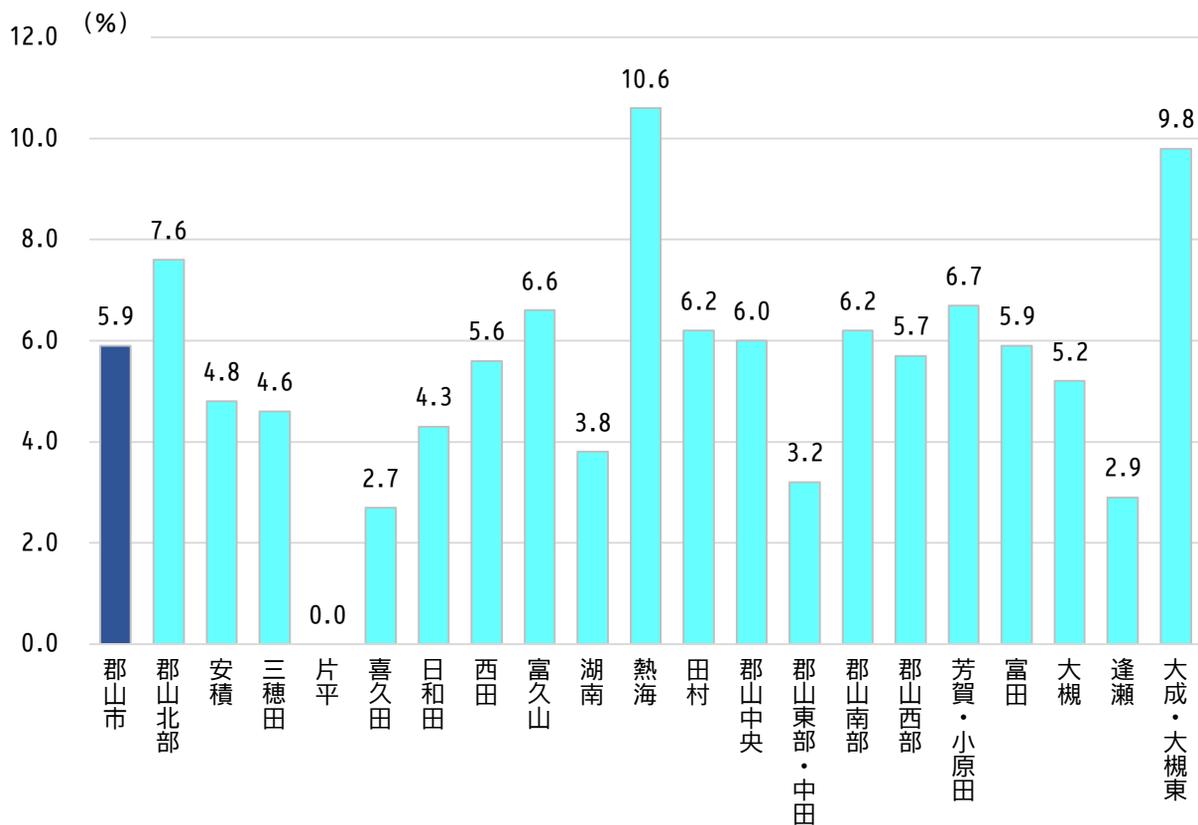


区分別割合

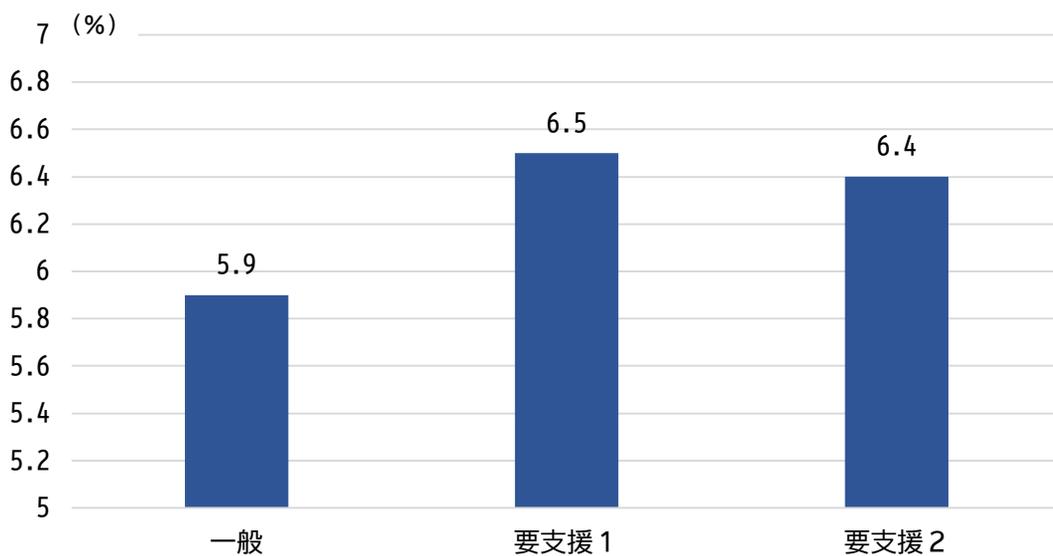


2、栄養改善リスク高齢者の割合

栄養改善リスク高齢者の割合（一般高齢者、要支援1、要支援2）

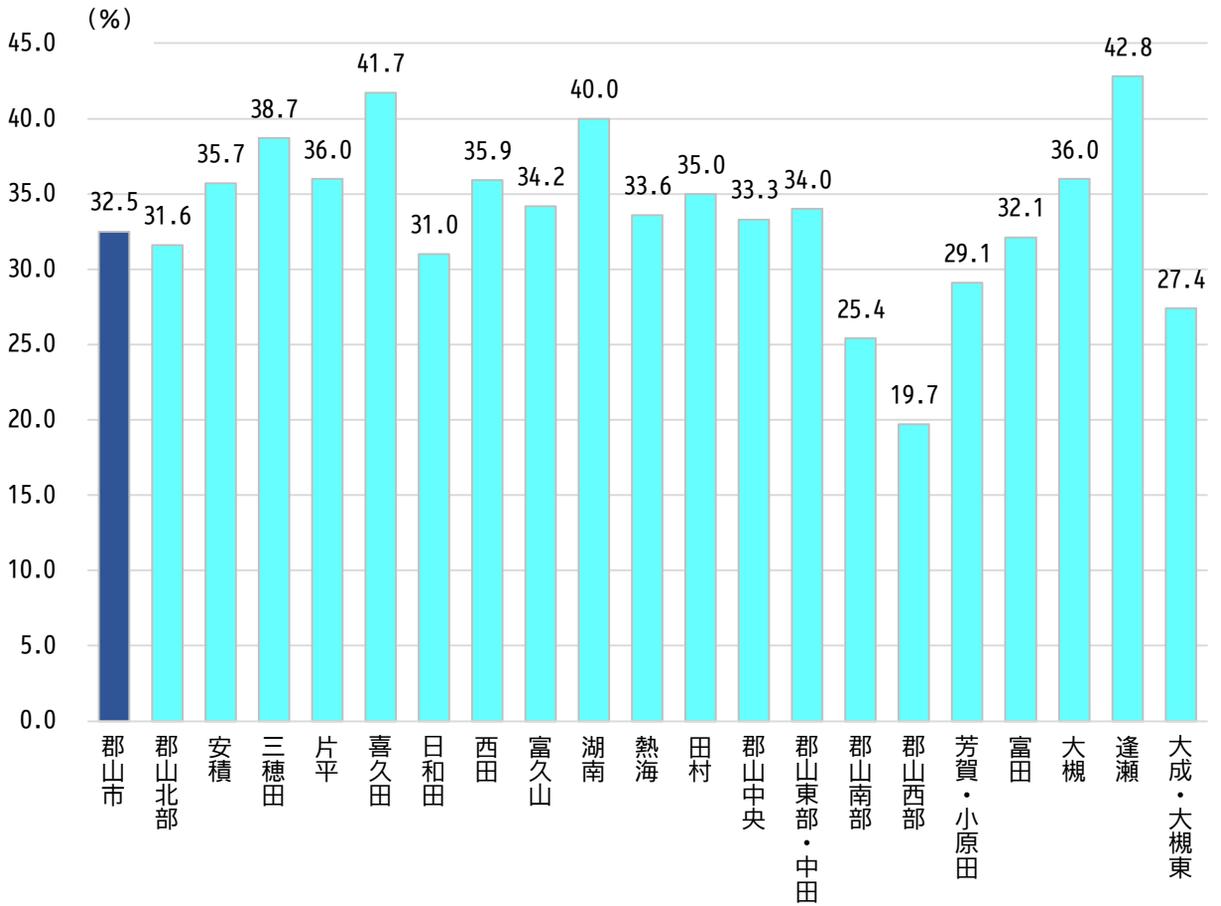


区分別割合

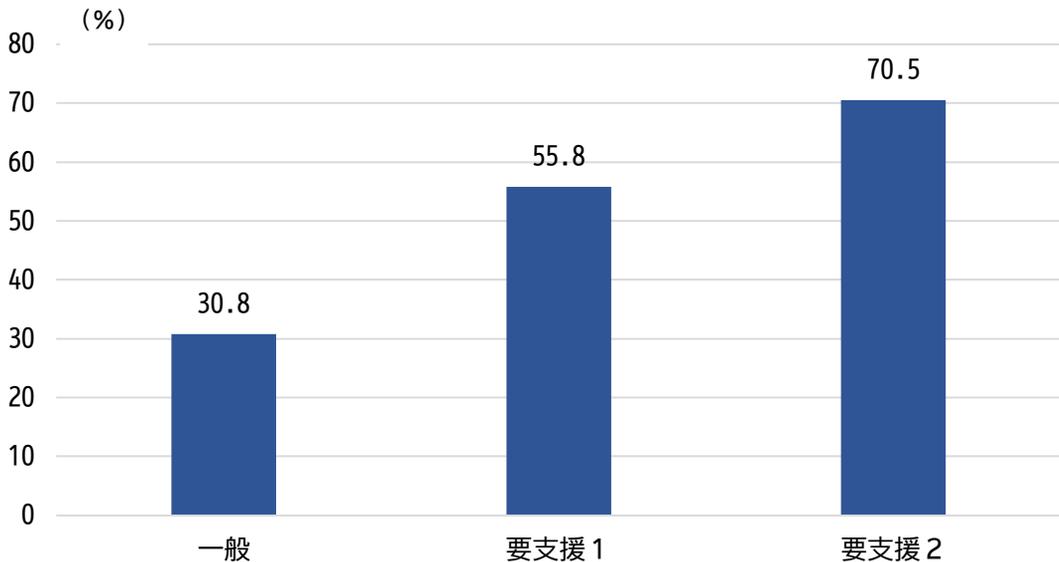


3、咀嚼機能リスク高齢者の割合

咀嚼機能リスク高齢者の割合（一般高齢者、要支援1、要支援2）

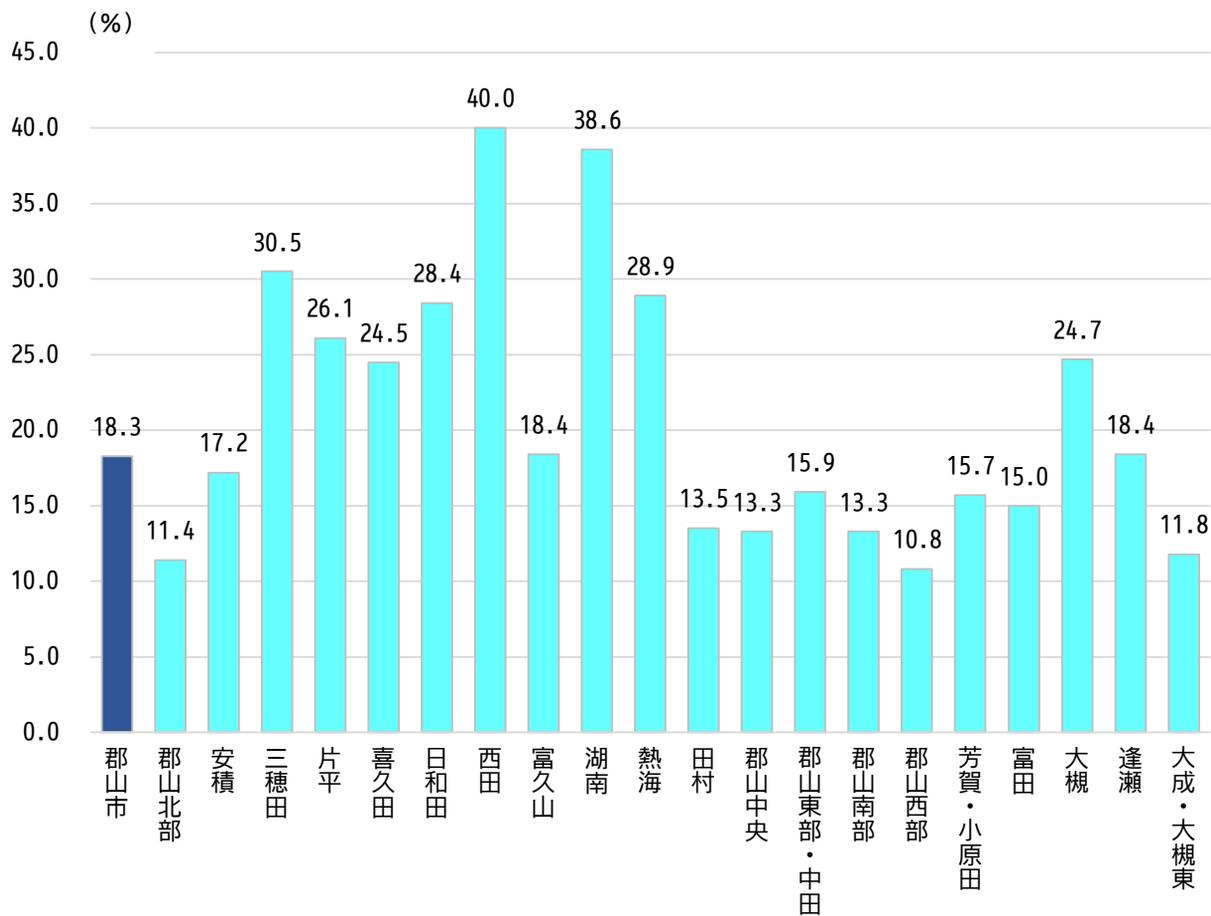


区分別割合

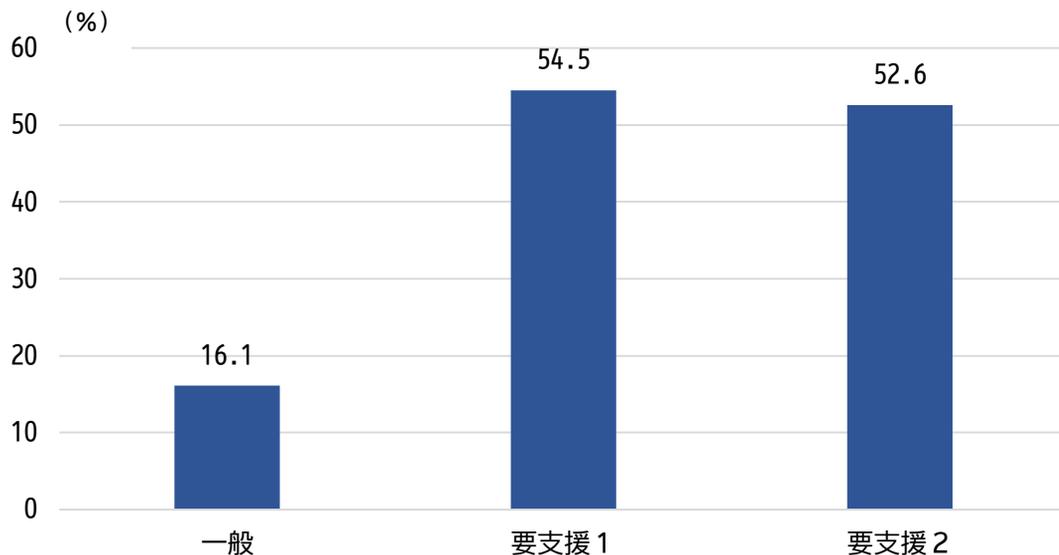


4、閉じこもりリスク高齢者の割合

閉じこもりリスク高齢者の割合（一般高齢者、要支援1、要支援2）

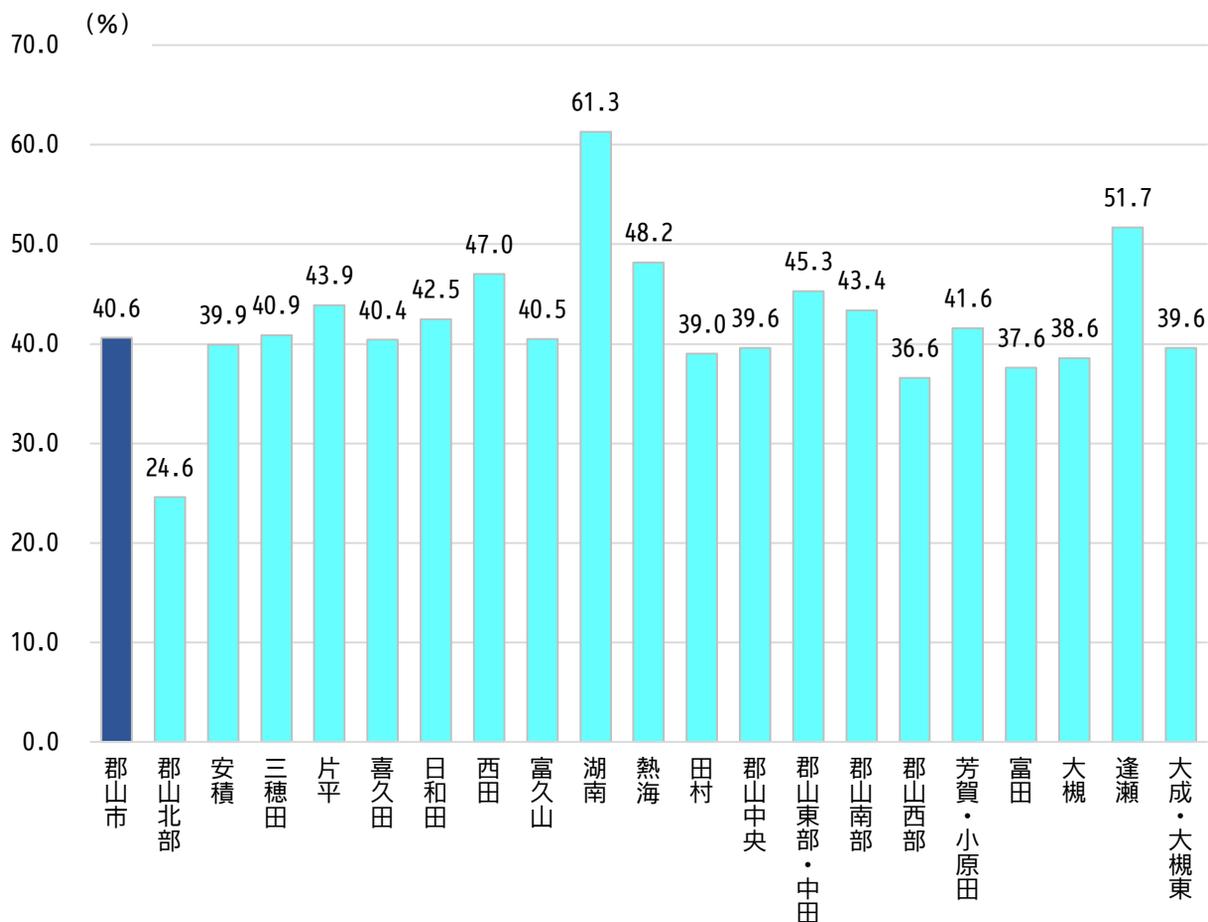


区分別割合

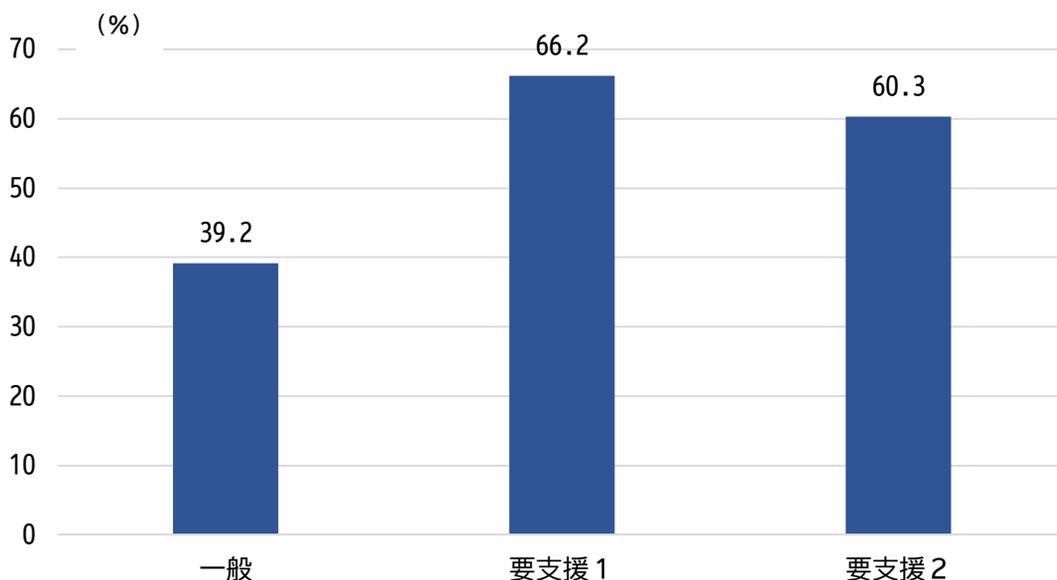


5、認知症リスク高齢者の割合

認知症リスク高齢者の割合（一般高齢者、要支援1、要支援2）

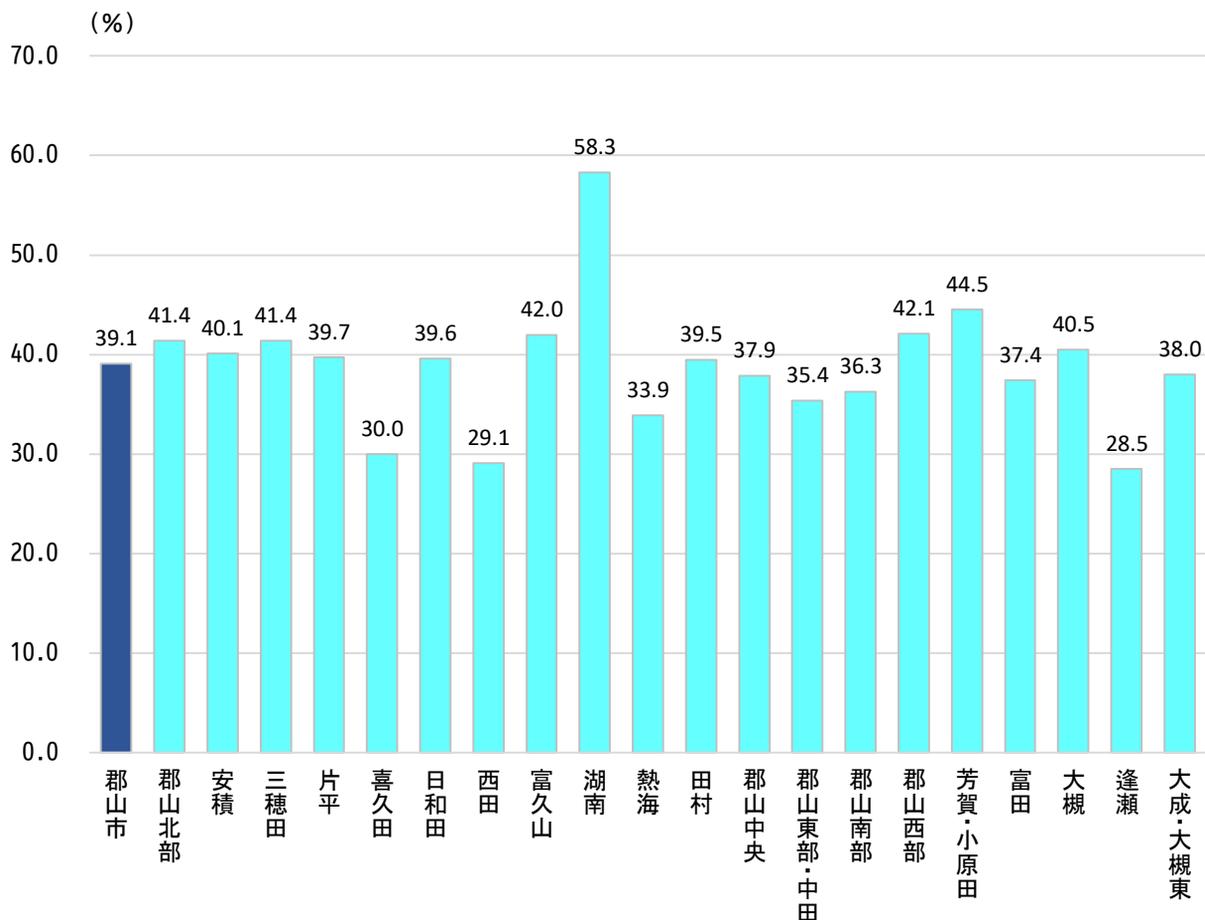


区分別割合

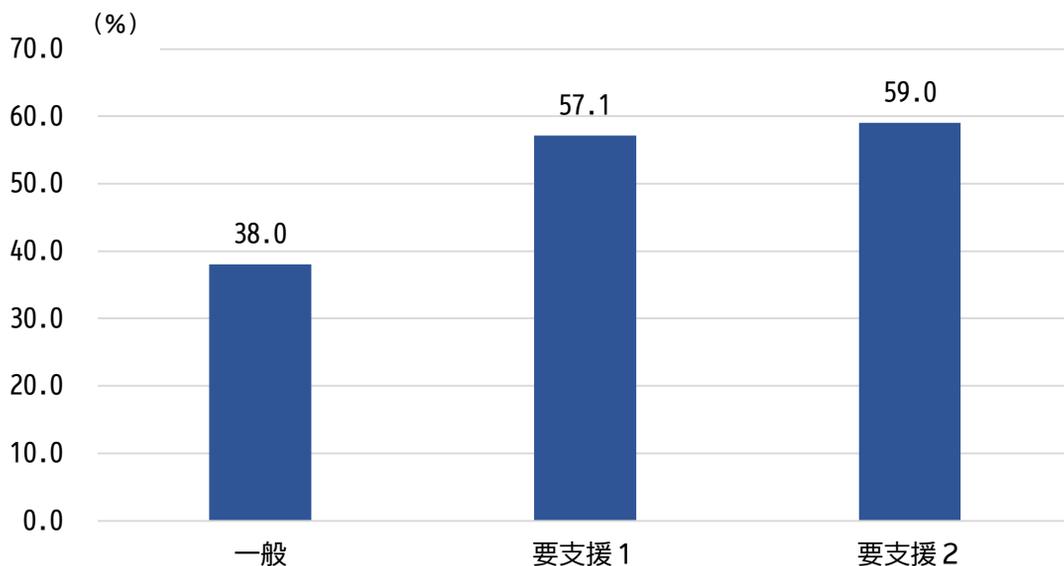


6、うつリスク高齢者の割合

うつリスク高齢者の割合（一般高齢者、要支援1、要支援2）

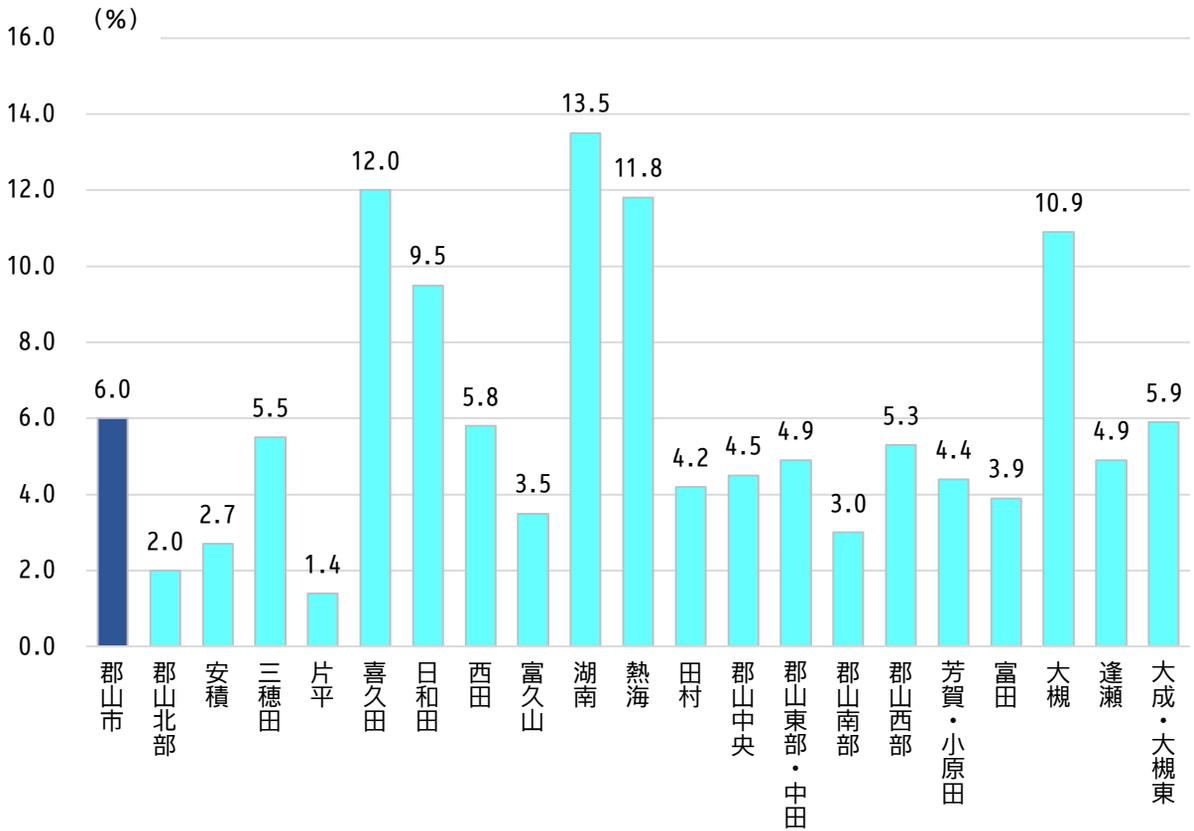


区別割合

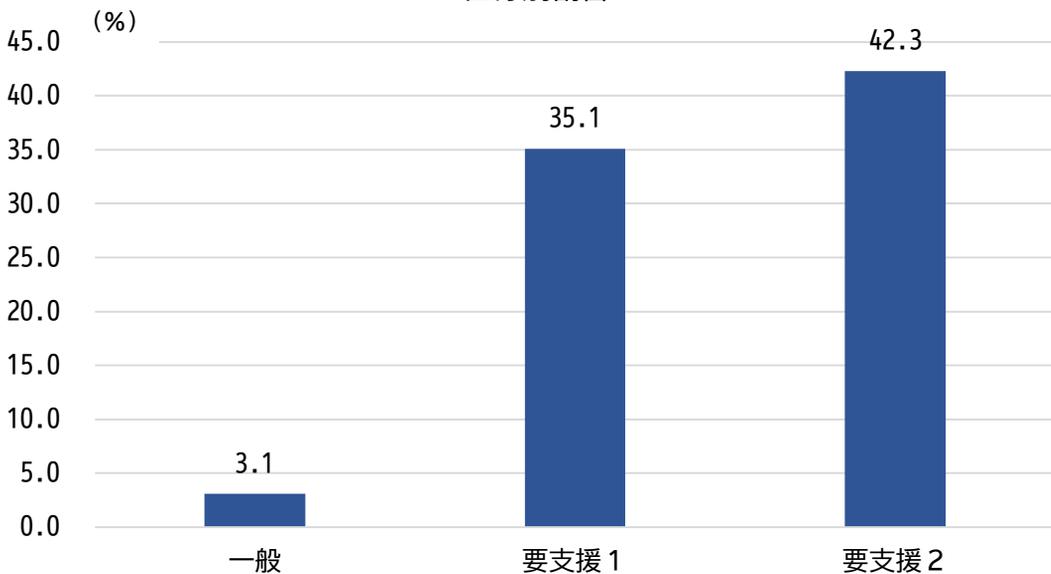


7、IADLが低い高齢者の割合

IADLが低い高齢者の割合（一般高齢者、要支援1、要支援2）



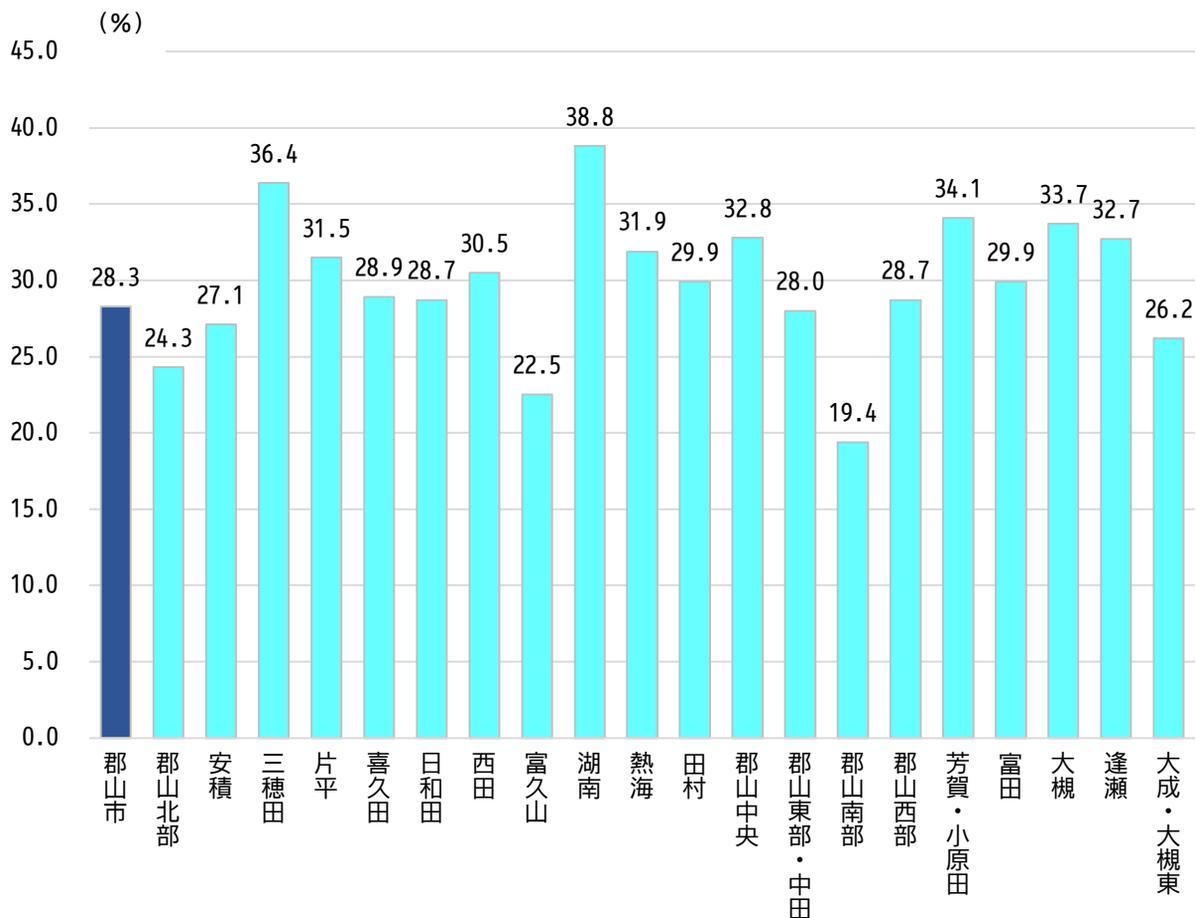
区分別割合



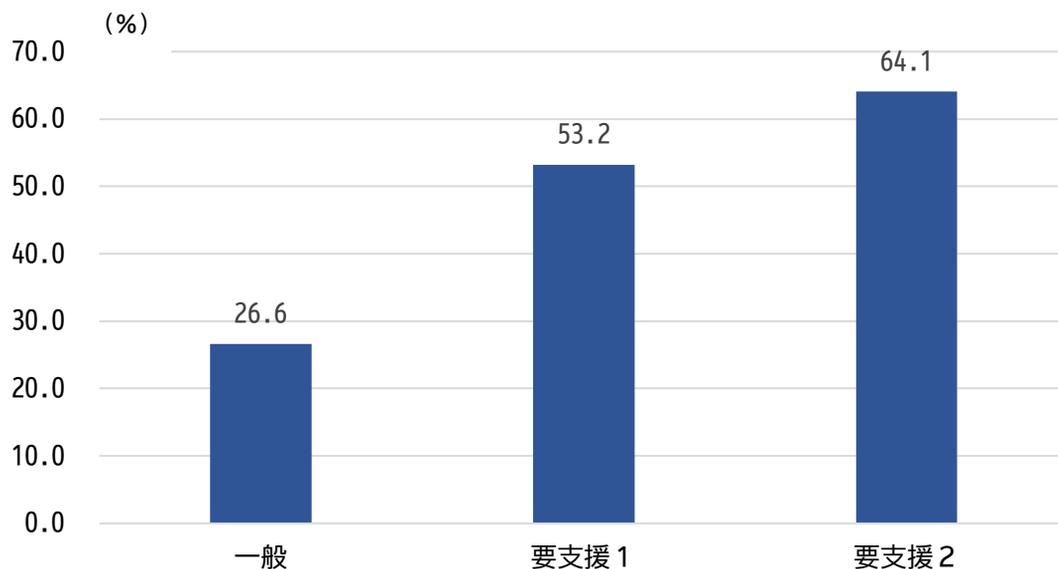
※ IADL：手段的日常生活動作（instrumental activity of daily living）の略
 買い物、調整、電話、財産管理、乗り物等の日常生活上の複雑な動作がどの程度可能かを示す指標

8、転倒リスク高齢者の割合

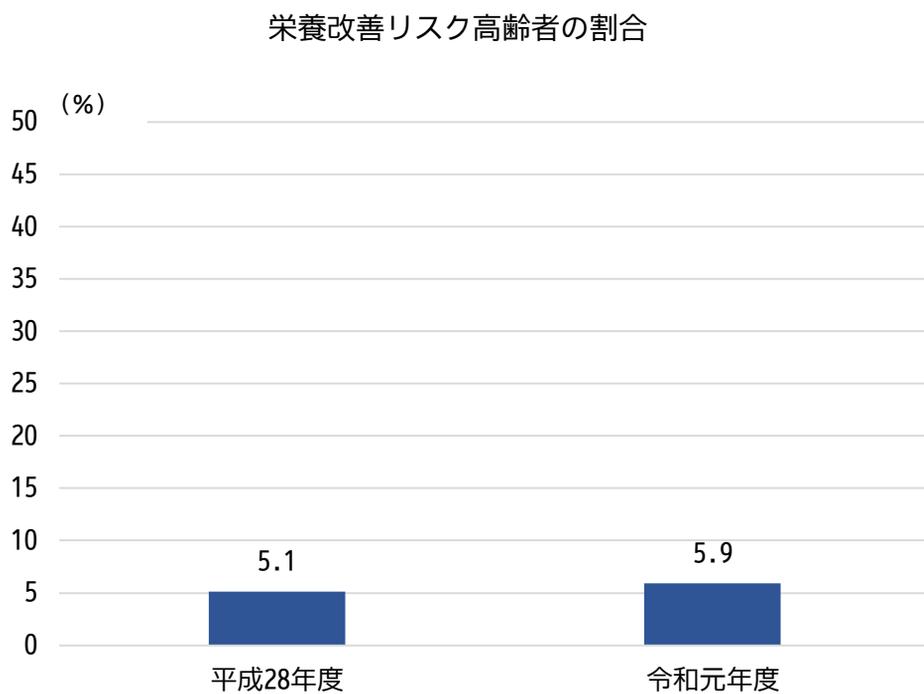
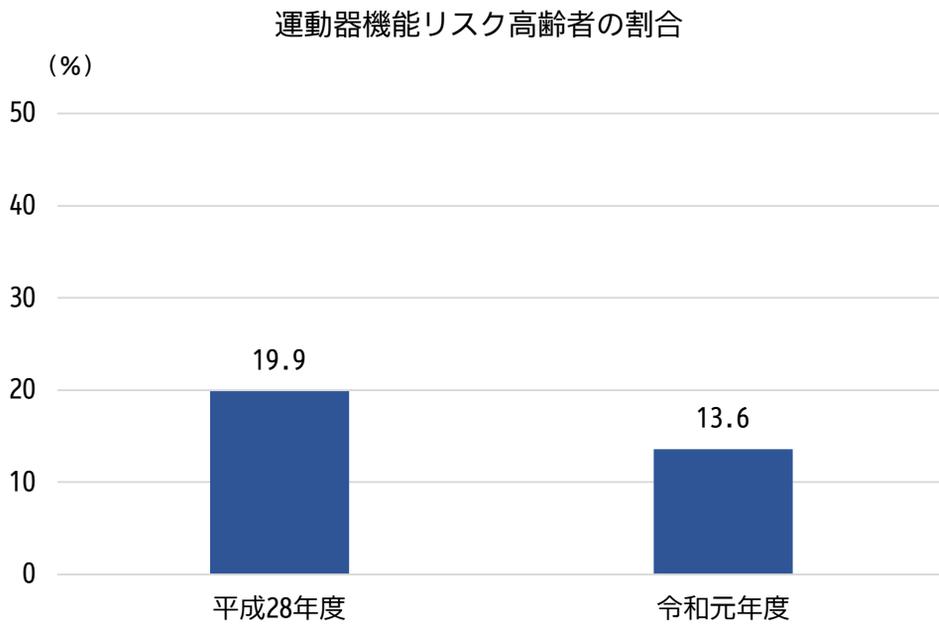
転倒リスク高齢者の割合（一般高齢者、要支援1、要支援2）



区別割合

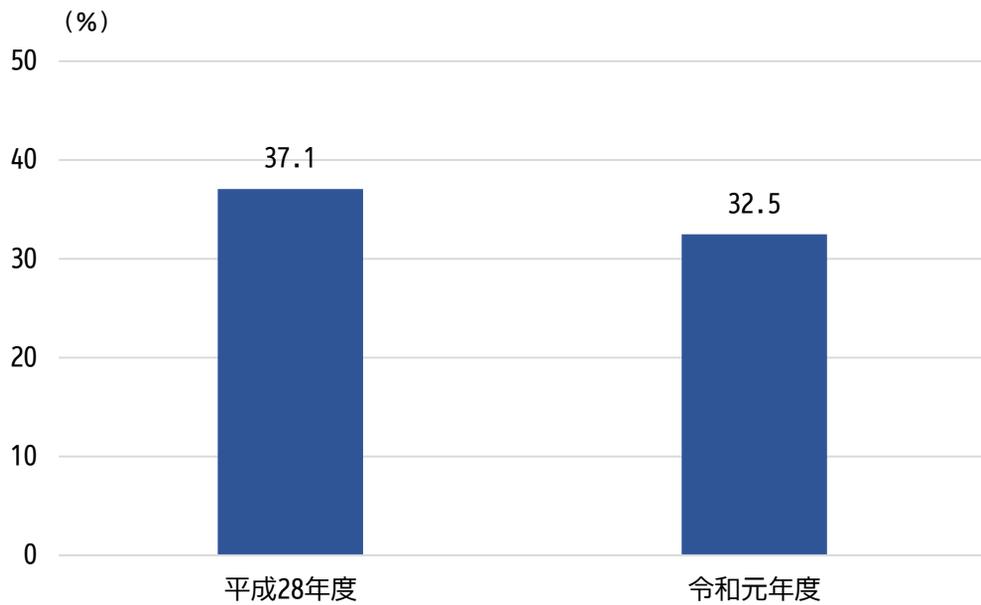


9、平成28年度調査結果との比較 ①

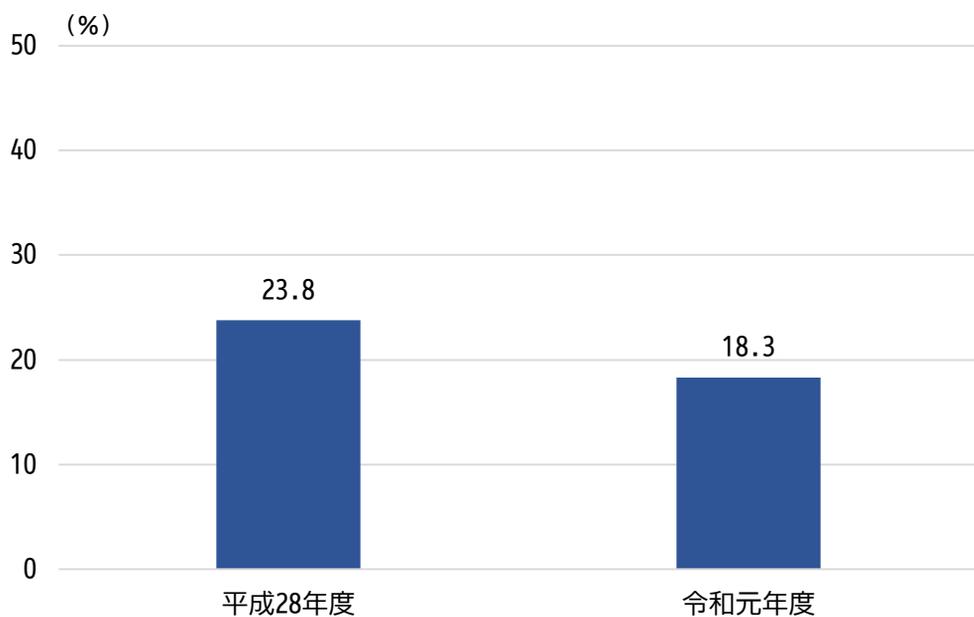


9、平成28年度調査結果との比較 ②

咀嚼機能リスク高齢者の割合

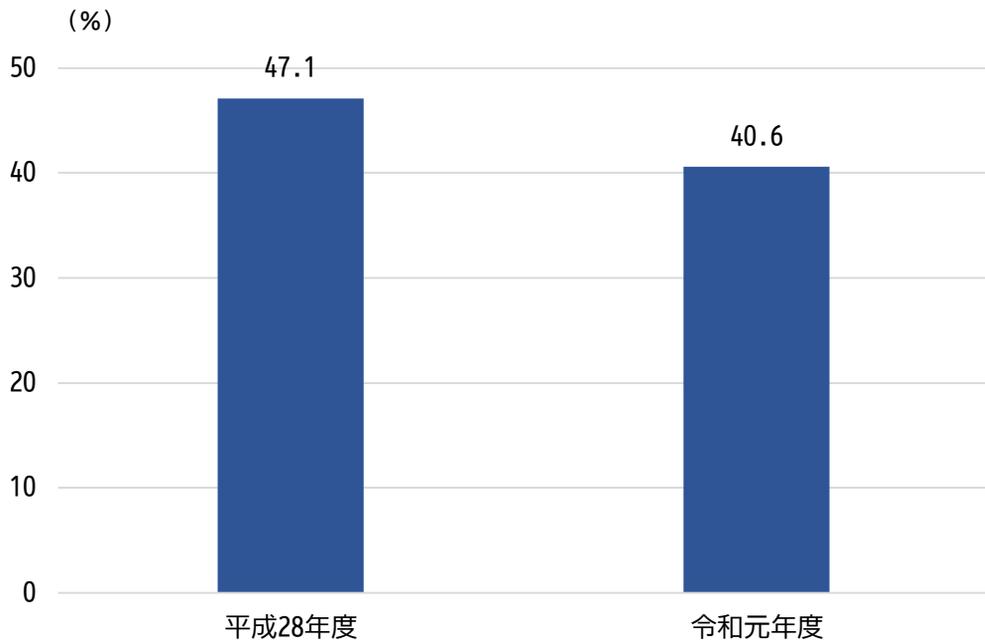


閉じこもりリスク高齢者の割合

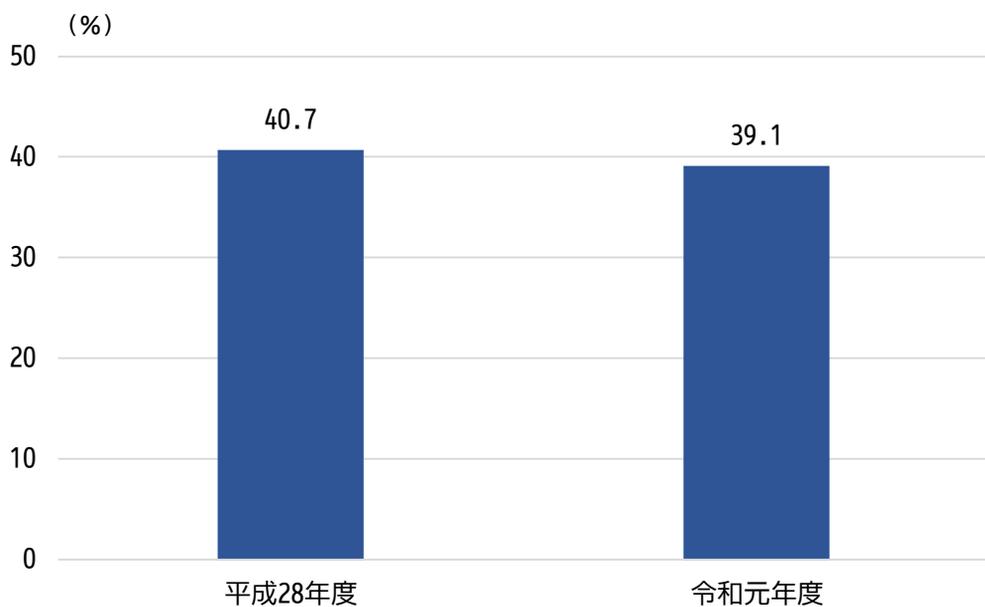


9、平成28年度調査結果との比較 ③

認知症リスク高齢者の割合

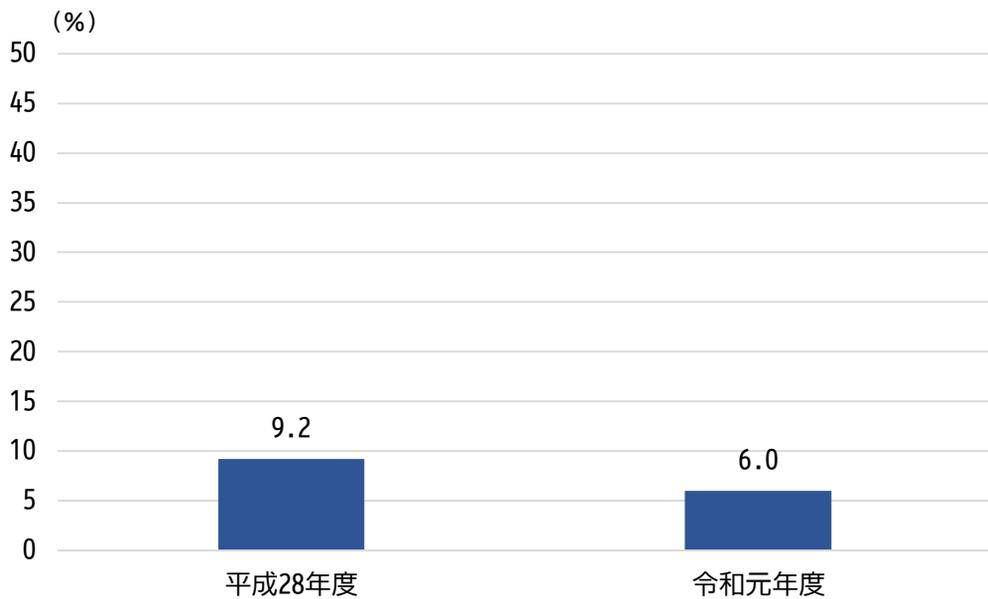


うつリスク高齢者の割合



9、平成28年度調査結果との比較 ④

IADLが低い高齢者の割合



転倒リスク高齢者の割合

